

環境活動団体票

だん たい めい 団体名	まめしま 豆島プロジェクトチーム			
所在地	尼崎市東園田町8丁目地先ー猪名川・藻川合流点			
代表者	役職・氏名	代表 山口 昇次		
	住所	—		
連絡先	TEL	090-6060-6649	FAX	06-6492-8790
	E-mail	idemoto_shinji@yahoo.co.jp		
	担当者氏名	出本 眞二		
設立年月日	平成24年4月1日			
会員・構成員数	20名			
団体の目的	猪名川の自然環境の復元の一環として、豆島の環境保全及び景観形成を目的に、島の外来種の除去、在来種の復活を試みる。この活動を幅広い市民参加で実現する。一方、周辺の地域とも連携し、地域の歴史に学び、地域おこしの起爆剤になってゆく。			
主な活動場所	豆島およびおおぞら広場			
主な活動内容	<p>H24年11月おおぞら広場で「出会いの島フェスタ」実施により周辺住民への啓発宣伝活動。以降毎年春秋にフェスタ開催</p> <p>H25年7月とH27年7月に広場の外周部に障害者の方々と一緒に入り、先端まで来て島が見られるように、車いすロードの設置</p> <p>H26年5月、野点を楽しむ催しを始め、以降野点を続けましたが、H30年から音楽を楽しむ活動に変更しました。</p> <p>R1に県から「生物多様性保全プロジェクト」の認定を受け、全国で川に関連した活動で「いい川. いい川づくりワークショップ」で 全国60数団体の中から入賞の栄誉を受けました。</p>			
コロナ対策	集会ではマスク着用の励行。体温の計測、アルコールによる手指の消毒実施。密にならないように気を付ける			
活動実績	<p>R2年度はコロナ感染症のため、恒例の春と秋のフェスタを取りやめました。又ここ数年実施しているトライやるウィークで中学生の豆島上陸も中止しました。</p> <p>ただし、10月には地元の園田東小学校3年生の環境学習で豆島上陸と島の植生の勉強を行いました。</p>			
団体のHP	—			

その他 PR 等

園田東小学校の環境学習風景



藻川漁協の船に乗って豆島に上陸しました。みんなライフジャケットを着ています。樹木医の藤原春善先生による島の木や草の説明を聞きました。帰りの船では船倉の中の獲れたばかりの魚などを見せてもらいました。モクズガニや黒弁慶ガニ、川アナゴ、ウナギ、ハゼなどを見て大喜びで、学校へ持って帰り飼育していました。



←島の植生分布図と駆除対象外来種など

手漕ぎボートのEボートは大人気です。ボートで島を周遊する人、島に上陸する人、それぞれの方法で楽しんでいます。→



豆島の自然環境を復元する計画づくり



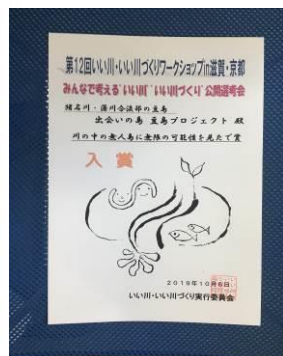
←外来種のトウネズミモチの駆除を行っています。外来種は繁殖力が強く、中々減りません。

子どもたちも島に上陸して、目で見て、種や苗を触ってみての学習をして貰っています。→



←今は音楽を楽しむのを中心にフェスタを行っています。たくさんの音楽仲間が集まり演奏し、楽しい時間を過ごしています。

子どもたちを集めて、島の成り立ちや島の中の様子などを絵にして、読み聞かせを始めました。大人が集まるだけでなく子どもたちにも楽しんで、島に興味を持ってもらうように！→



豆島の活動を地域だけでなく、県内一円や全国的にアピールしようと対外的に活動を行いました。メンバーの片寄俊秀先生の尽力により、県からは「猪名川下流域における生物多様性保全のための豆島とその周辺の植生改善と環境再生活動」として県知事からの認定証を頂きました。一方、全国で川に関係した活動している多くの団体が集まり活動の成果を発表する「いい川・いい川づくりワークショップ」では優秀賞こそ逃しましたが、入賞を勝ち取ることが出来ました。